

第12回 『日本テスト学会賞』記念講演・ワークショップ

センター試験における大学合格率の停滞現象

— 自己採点による出願先の主体的選択が生み出す
志願者の分散配置 —

内田照久[†]・鈴木規夫[†]・橋本貴充[‡]・荒井克弘[†]
([†]大学入試センター, [‡]帝京大学)

2018年12月8日(土) PM 13:00~16:00
明治学院大学 白金キャンパス 本館1301教室

「センター試験のリスニングを皆で体験！」

テスト学会 大会実行委員会
東北大学 高度教養教育・学生支援機構 共催

日本テスト学会 第15回大会
公開企画1

「センター試験のリスニング
を皆で体験」

大学入試センター 内田照久先生

本企画は、科研費基盤研究(A)課題番号:16H02051の支援を受けています。

黒幕：東北大学
アドミッション
オフィス

2017年8月19日(土) AM 10:00~11:30
東北大学百周年記念会館・川内萩ホール

企画の趣旨

- ❏ リスニングは他の科目とちょっと様子が違う！
- ❏ 他では体験できない、本物のセ試のリスニングの受験に挑戦
- ❏ セ試のリスニングを身近に感じて、本番でも自然体で受験できるように！
- ❏ 受験体験の後には... センター試験のお話も...



ICプレーヤーとセットで貸し出しの憂き目に...

3

※ センター試験の自己採点って？

- ❏ センター試験の成績は、普通の試験と違って、基本的には教えてもらえない。
- ❏ 成績通知は別料金，出願時に申し込み手続きが別途必要
- ❏ でも 通知時期は 翌年度の4/16(月)以降
☞ 合格発表・入学手続きよりも後...



試験後に自分で採点！

4

問10 10

- ✗ ① Haven't you seen him before?
- ② How did you forget about me?
- ✓ ③ I think you may be mistaken.
- ④ You have the wrong number.

問11 11

- ✓ ① I don't, but I know I should.
- ② No thanks. I'm not thirsty.
- ③ We ought to sell two liters a day.
- ④ Yes, my backpack is waterproof.

自分の解答を残しておく必要

- ③ Would you mind signing up for my class?
- ④ You had better complete your application.

問13 13

- ① Well, the latest ad can be trusted.
- ② Well, the product sells well worldwide.
- ③ Well, the questions may be biased.
- ④ Well, the research seems accurate.

これで第2問は終わりです。

英語 (リスニング) 解答用

提出するので
手元に残らない

リスニングは
マークと記録を
同時平行で!

マーク例
良い例 悪い例

① 受験番号を記入し、その下のマーク欄にマークしなさい。

受験番号欄

千位	百位	十位	一位	英字
1	0	1	5	A

解答欄

解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

試験場コード

フリガナ うちだ てるひさ
氏名 内田 照久
試験場コード 170819

「解答はじめ」の指示が
解答開始
1 イヤホンの左右を確認
2 「スライドカバー」を
「再生ボタン」を押す
以後は、問題音声

公開企画1 (リスニング)

解答時間

「解答はじめ」の指示から30分

受験番号: 1015A

試験場コード: 170819

東北エリアの高校2年生が受験体験



高校の先生や保護者，学会参加者も！



受験環境はかなり狭くて窮屈・・・



ハロウィーンの渋谷の一步手前？



★ セ試の成績と大学の合格率

📖 自己採点で セ試成績はわかるが...

問. センター試験の得点が高ければ、
大学の合格率は上がるのか？

📖 答. "No" でもあり "Yes" でもある！

11

はじめに

— 大学進学の意味決定に影響を与える要因 —

(1) 社会決定論的な制約条件

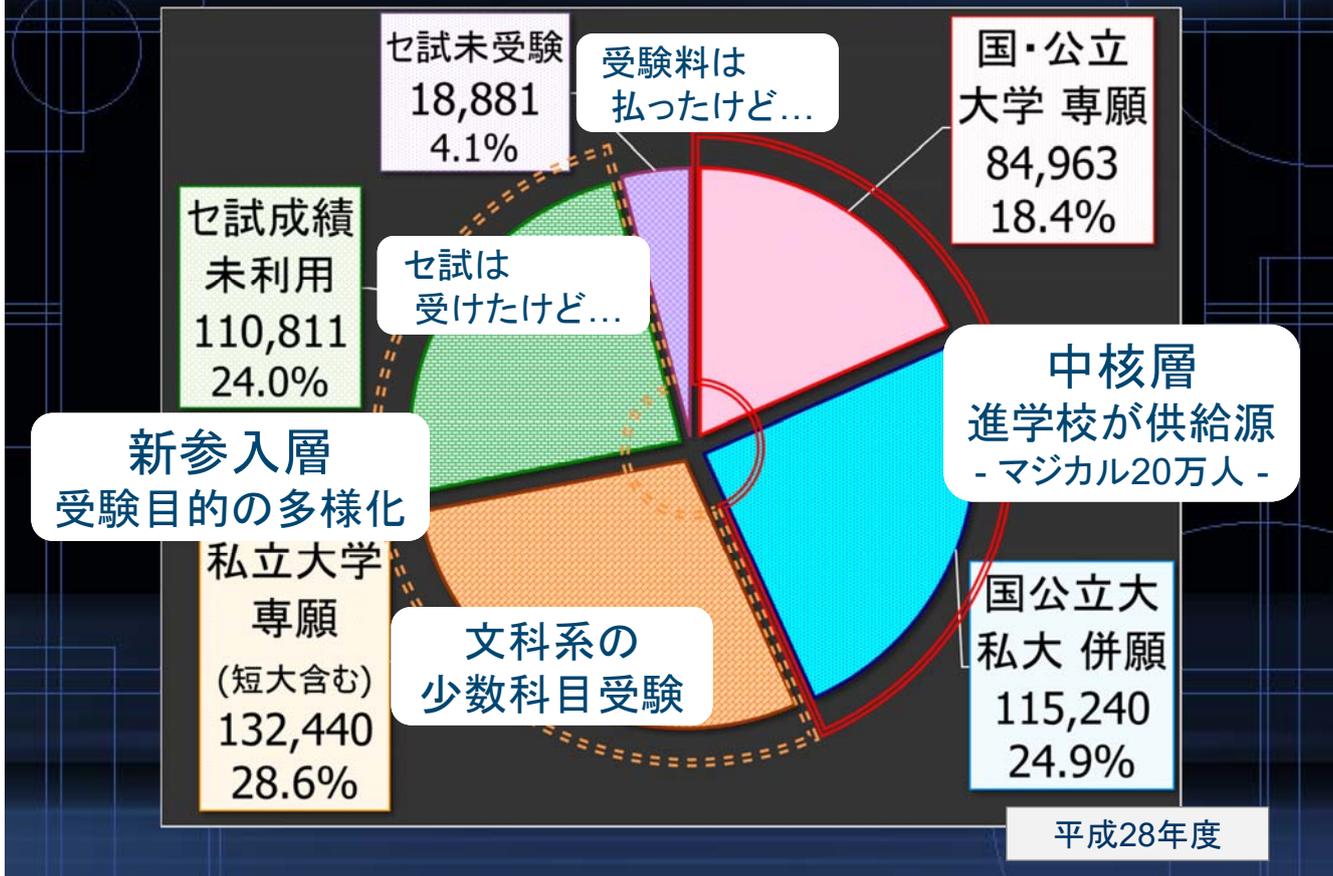
教育制度など外的要因によって制約を受ける要素

(2) 主体選択論的な意思決定

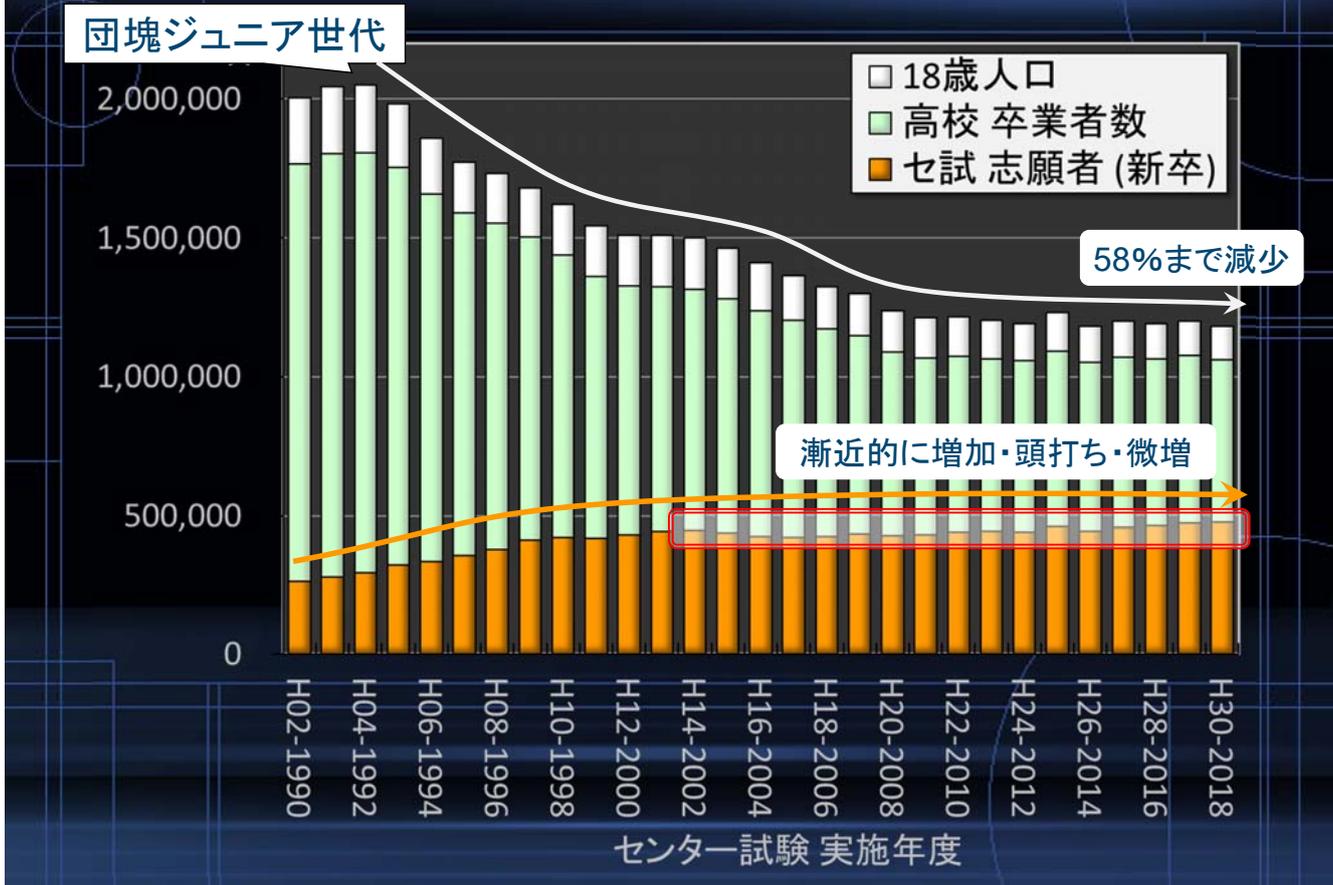
受験生本人の主體的な意思決定による選択行動

12

0. セ試 新卒志願者の出願類型 (鈴木の4分割)



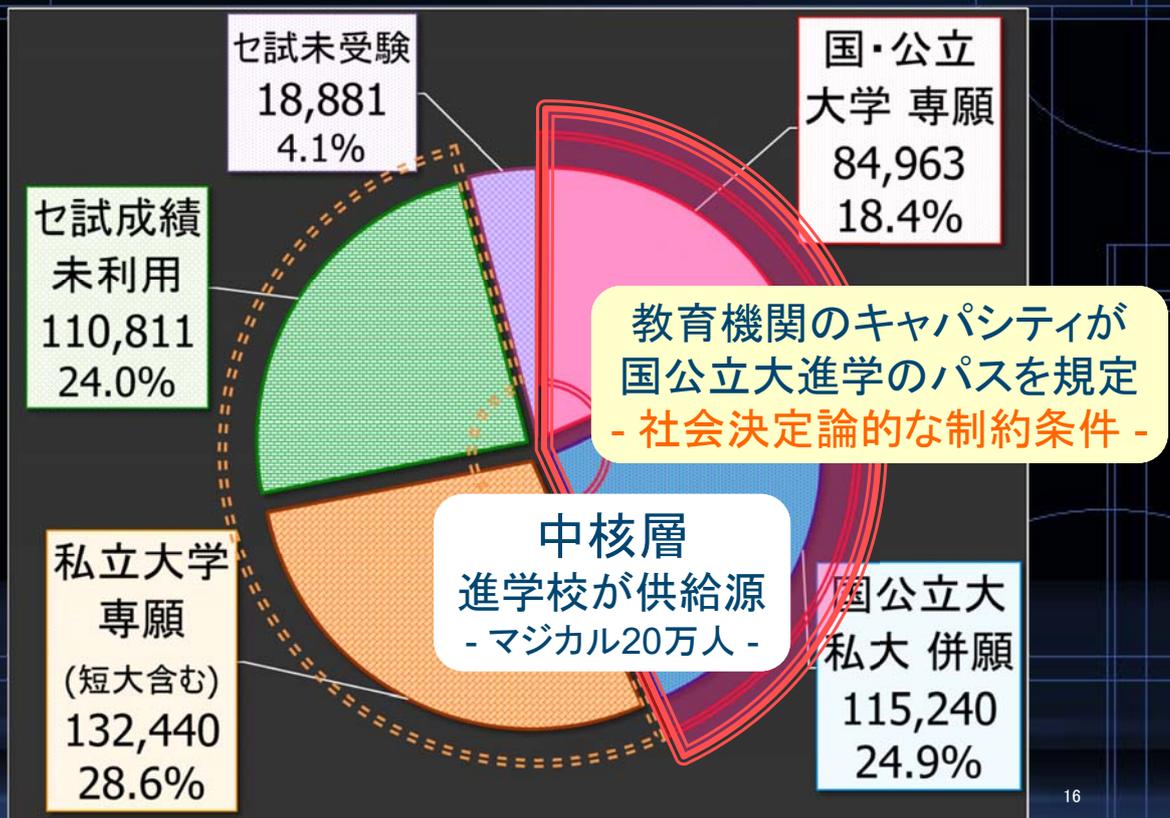
1. 18歳人口とセンター試験志願者



1.1 センター試験志願者の2層構造化



3a. 中核層の 社会決定論的な制約条件



3b. 受験者の 主体選択論的な意思決定

出願する大学・学部を選定にあたっては、

- ・ 多様なチャネルからの様々な情報と、
- ・ 自分を取り巻く条件を統合して、
- ・ 内的な意思決定の結果、出願先を決定

- 多くの葛藤があるにせよ、
- 最終的には主体的に判断した選択行動

— 主体選択論的な意思決定 —

17

センター試験の自己採点の結果も見てみよう

やりたいことって？
何だろう？

お金をかけては
いられないぞ？

国家資格が
取れる方がいい？

家業を
継がなきゃ？

で、そもそも、
その大学・学部は、
入れるの？
入れそうなの？

こんな家から
出て行くだ！

両親の希望も
無視できないなあ

やっぱり地元が
いいかなあ

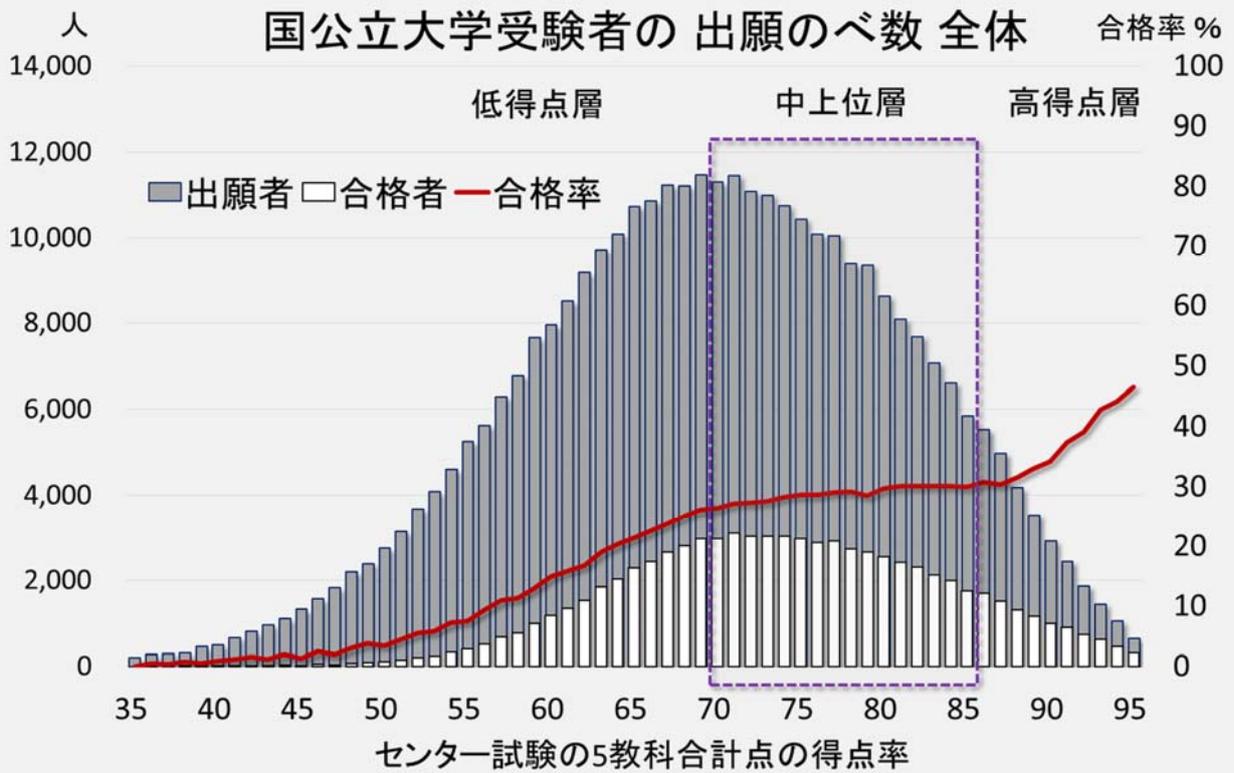
彼氏・彼女は
どうなるんだろう？

都会に行くんだ！
絶対行くんだ！

就職するのに
強いところって？

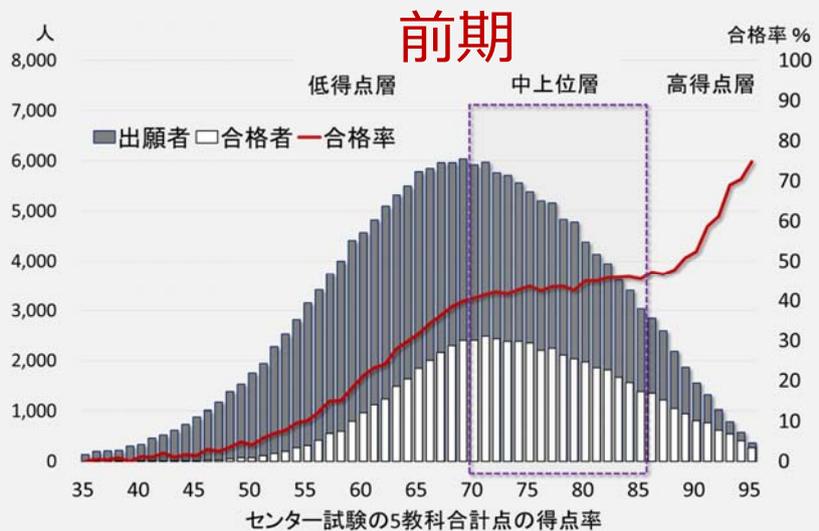
18

4. 中核層における合格率の停滞現象

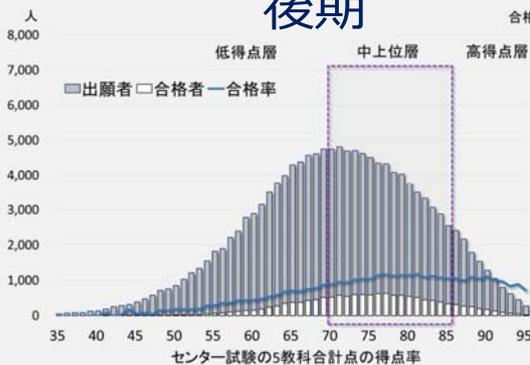


4a. 試験日程別では？

前期日程で
顕著に発生



後期

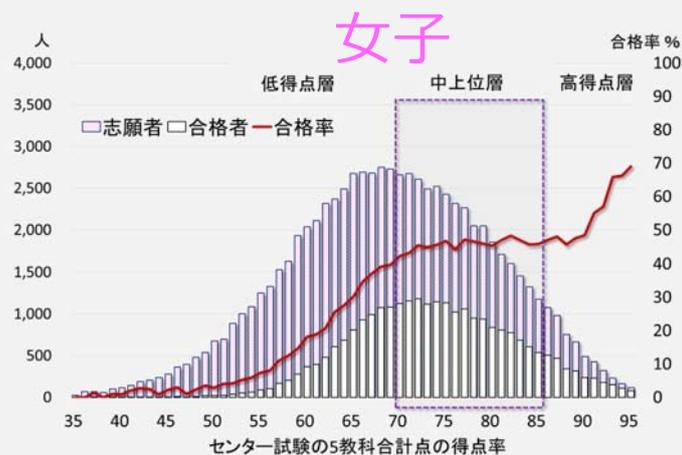
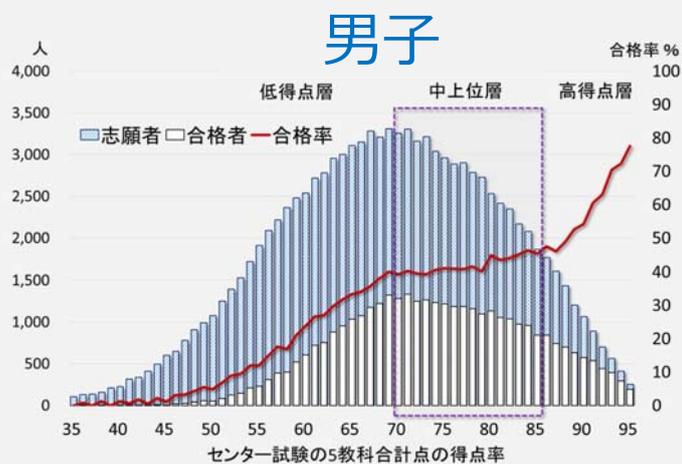


中期



4b. 性別ごとに 違いは？

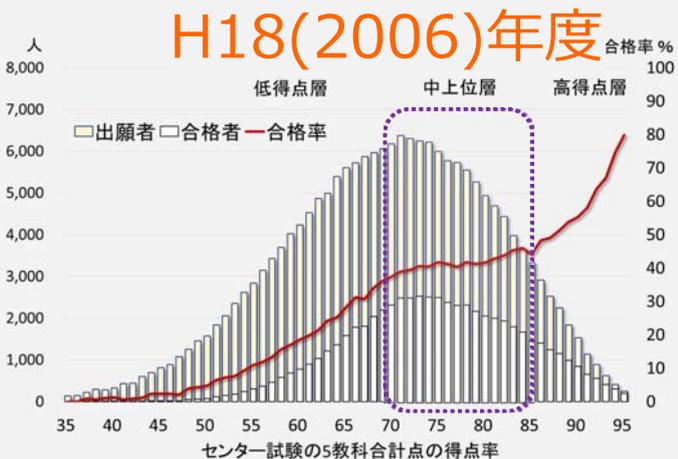
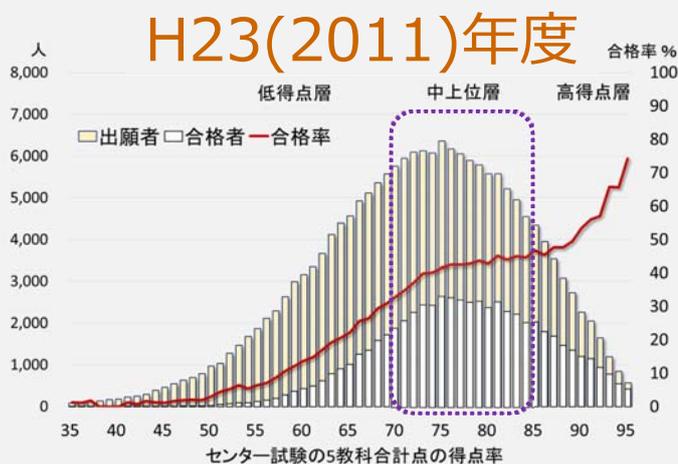
男女を問わず
同様に生起



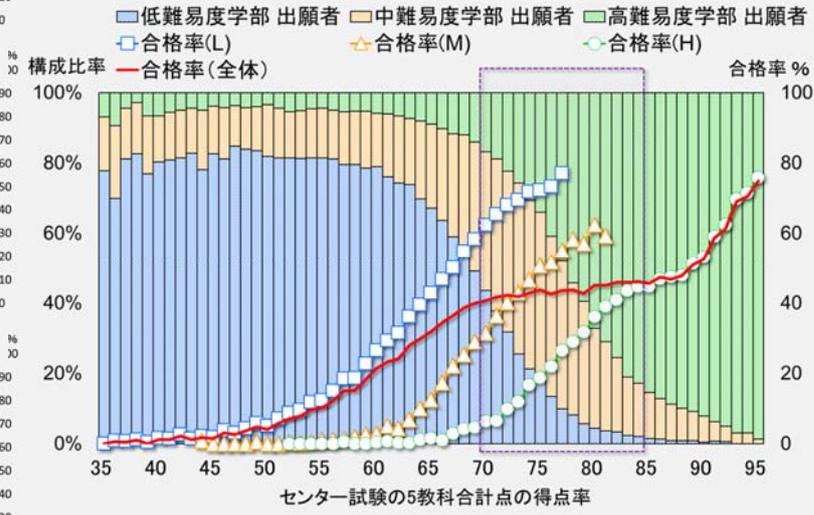
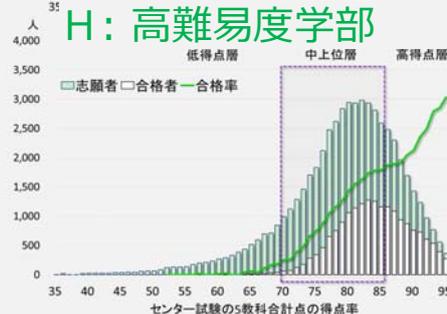
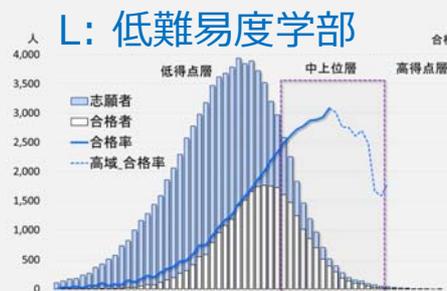
4c. 当該年度だけ 特別か？

実施年代を問わず
同じように生起

最頻値近傍から
上位の領域で発生

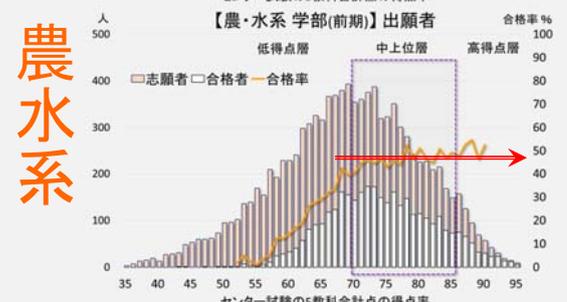
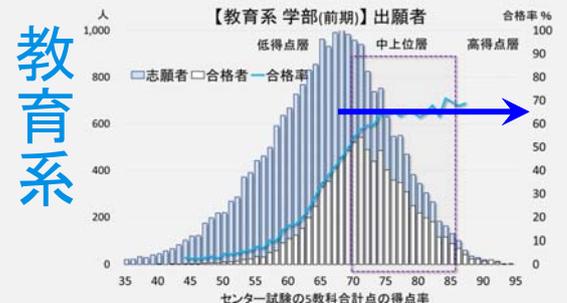
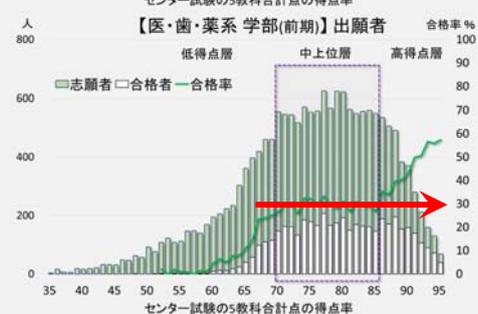
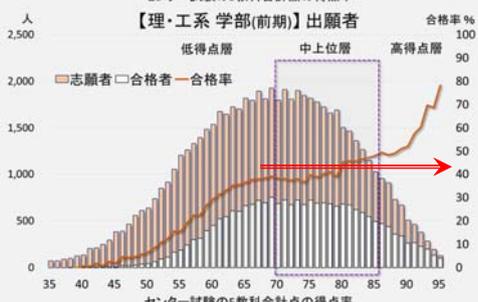
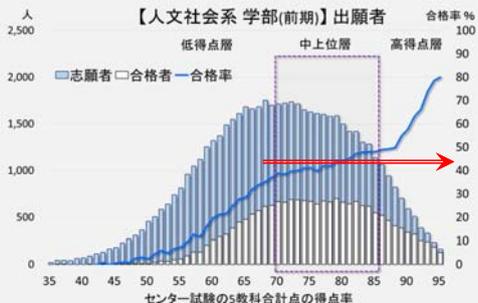


全体は分割サブ・グループの集積体
 — 合格率の停滞現象 —
 よりマクロな社会的機能を体現？



5. 学部系統別の比較

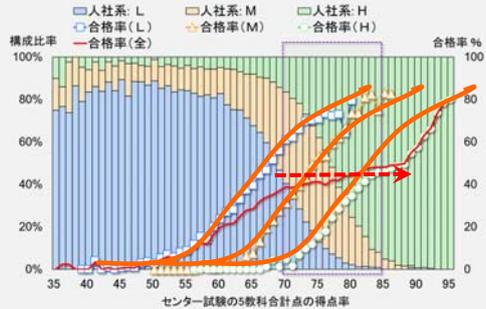
人文系
 理工系
 医歯薬系



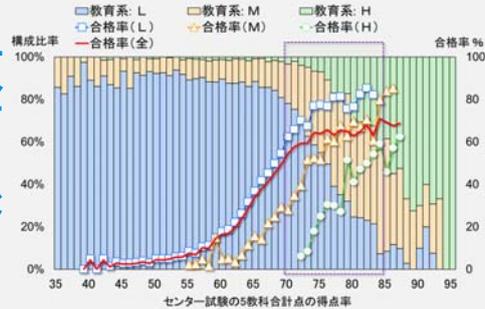
教育系
 農水系
 看護系

学部系統・難易度クラス別

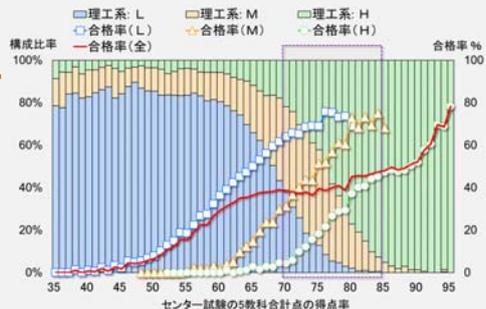
人文系



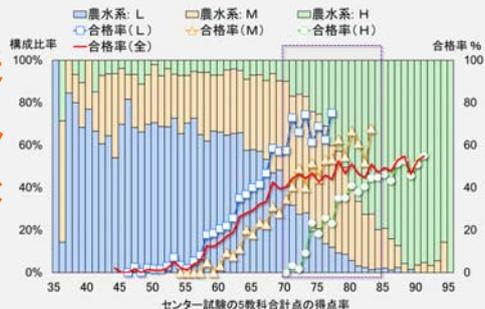
教育系



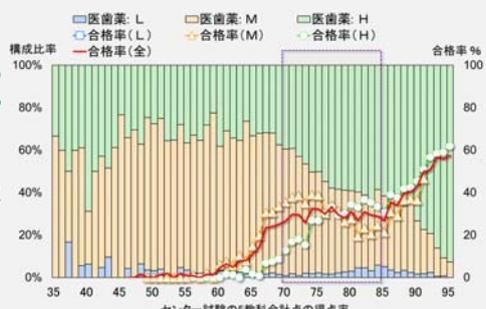
理工系



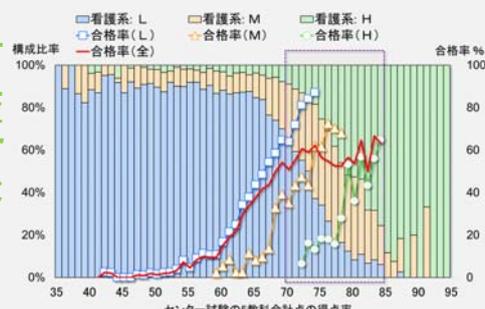
農水系



医歯薬系

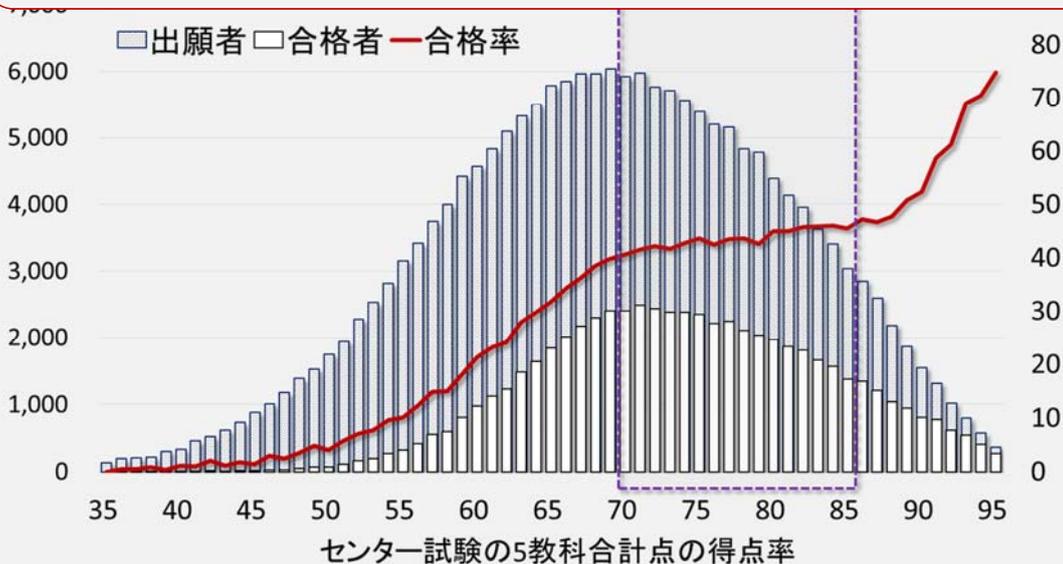


看護系

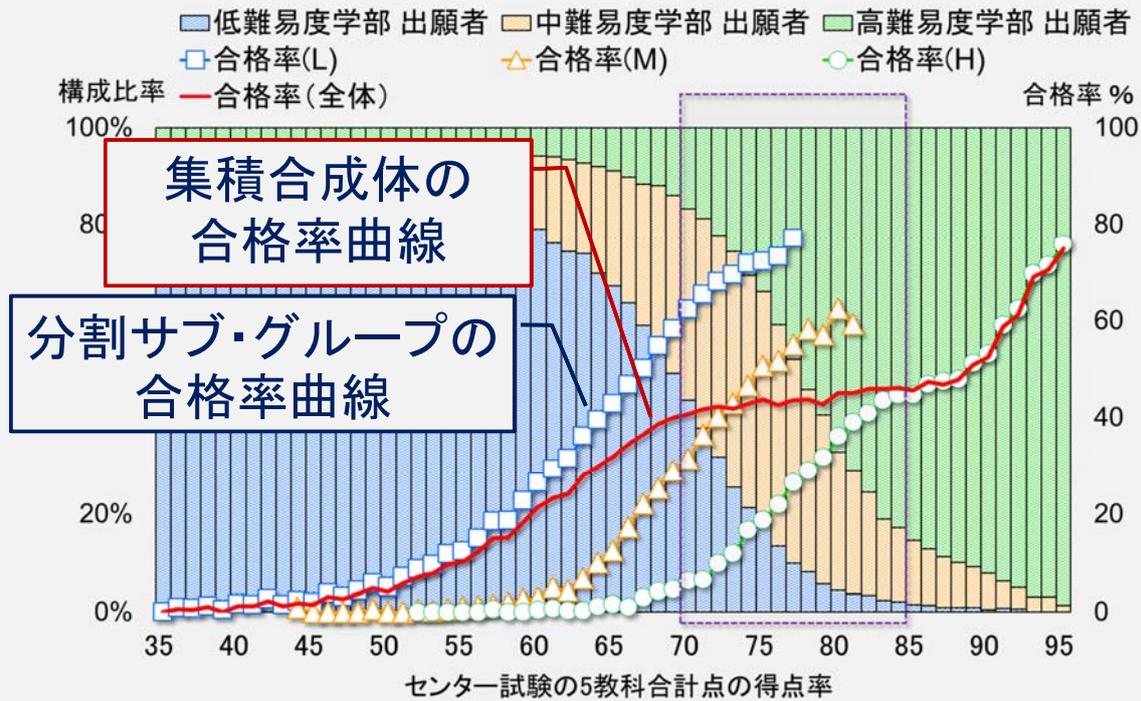


6a. 合格率の停滞が意味すること — 競争倍率の平準化 —

自己採点による得点情報の利用には
出願者を分散配置するフィルタ機能 !?



6b. 合格率曲線が持つ意味の二面性



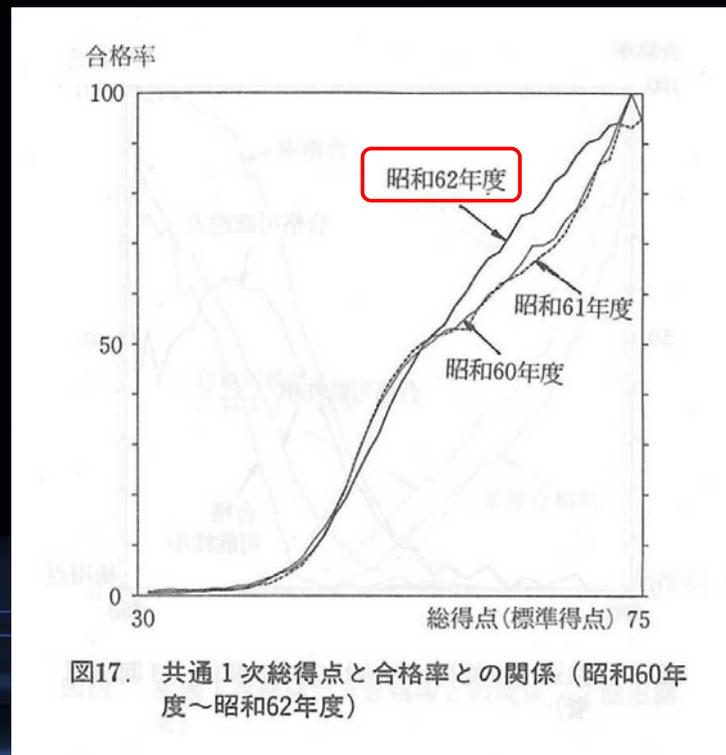
6.c もし自己採点がなかったら !? —昭和62年度の事例—

事前出願方式: — 自己採点方式の封印 —
 共通第1次学力試験の試験日よりも前に、
 個別大学への出願を行う

(1) 「足切り」の大量発生による社会的混乱
 停滞現象が消失: 分散配置フィルタが機能せず

(2) 「連続方式」・「事後選択制」の影響
 東北大学: 空前の競争倍率と入学辞退率を記録

山田文康・石塚智一 (1988). 国公立大学における受験機会複数化のもとでの受験者の行動 大学入試センター紀要, 17, 1-28. より



6.d —昭和62年度入試の教訓— もし自己採点がなかったら!?

S62入試の改革:

「『入れる大学』から『入りたい大学』へ」の
理念は賛同し得るものだったのかも?

しかし

「社会資本の有効利用のための学生の適正配置」
「若年者の人的資源の経済的・時間的ロスの低減」
の観点からも 望まれる結果ではなかった

6.d 大学入試をめぐる機能バランス と制度設計

大学入試は、

- 教育上の社会的な制約,
 - 受験者の主体的な意思決定,
 - 選定時に用いられる情報の利用,
- その集積統合の微妙なバランスの上で機能
- 制度変更は 思いもよらない形で甚大な影響
 - 実は 自己採点でなくてもよいのだが...
 - 制度設計は 殊のほか慎重に進める必要

31

ありがとうございました

